

データあり

令和6年11月14日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 白木・永田
電話 782-2111
(那須どうぶつ王国、よこはま動物園、
西海国立公園九十九島動植物園、
と同日発表)

ツシマヤマネコが移動します

環境省によるツシマヤマネコ保護増殖事業により、ツシマヤマネコの移動がありますので、下記のとおりお知らせします。今回の移動完了後、東山動植物園で飼育するツシマヤマネコは3頭になります。なお、本件は、那須どうぶつ王国、よこはま動物園、西海国立公園九十九島動植物園と同日発表しています。

記

1 転出するツシマヤマネコについて

(1) 個体情報及び転出予定日

血統登録番号	愛称	性別	生年月日・出生地	転出先	転出予定日	展示終了予定
No. 106	かりお	オス	2024年5月9日	那須どうぶつ王国	2024年 11月19日	2024年 11月17日
			東山動植物園			
No. 110	ひとえ	メス	2024年5月24日	那須どうぶつ王国	2024年 11月19日	2024年 11月17日
			東山動植物園			
No. 83	勇希(ゆうき)	オス	2017年5月11日	よこはま動物園	2024年 11月27日	2024年 11月26日
			京都市動物園			
No. 107	つつ	メス	2024年5月9日	西海国立公園 九十九島動植物園	2024年 12月13日	2024年 12月12日
			東山動植物園			
No. 108	あざも	メス	2024年5月9日	京都市動物園	2024年 12月中旬	未定
			東山動植物園			
No. 109	しゅうし	オス	2024年5月24日	京都市動物園	2024年 12月中旬	未定
			東山動植物園			

(2) 転出理由

環境省が決定した「令和6-7年 ツシマヤマネコ飼育下繁殖計画」において、No.83はよこはま動物園で人工授精に取り組むため、No.106とNo.110は那須どうぶつ王国で、No.108とNo.109は京都市動物園で、No.107は西海国立公園九十九島動植物園で将来の繁殖を目指すため。

(3) その他

- ・ No.83は、よこはま動物園で採精後、短期間で東山動植物園に戻る予定です。
- ・ 今回の移動は、転出先での一般公開を前提にするものではありません。
- ・ No.108・No.109の転出予定日や展示終了日及びNo.83の採精後の転入予定日は、公式ウェブサイトで順次お知らせします。

2 今後東山動植物園で飼育するツシマヤマネコ

血統登録番号	愛称	性別	生年月日	出生地	目的
No. 89	レイラ	メス	2019年4月15日	福岡市動物園	繁殖
No. 99	りん	メス	2022年7月6日	福岡市動物園	繁殖
No. 105	ベニー スモ	オス	不明	対馬（野生由来）	展示・繁殖

※繁殖を目的として飼育する場合、原則メスは公開しません。オスは繁殖期以外公開します。

3 取材等について

- ・来園及び転出時の個体の撮影はできません。
- ・ツシマヤマネコ舎は繁殖エリアと展示エリアに分かれており、開園中の展示エリアのみ撮影可能です。展示エリアにいないツシマヤマネコを撮影することはできません。

(参考)

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

10施設36頭（オス17頭、メス19頭）令和6年9月30日時点

■ツシマヤマネコについて

長崎県対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。生息数は90または100頭程度と絶滅が心配されており、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長 約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさで、体全体の斑点模様、額の縞、耳裏の白斑（虎耳状斑）、太くて長い尻尾などが特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2020）。国の天然記念物。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖については、平成26年5月に環境省と公益社団法人日本動物園水族館協会の間で締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づき、全国11施設で取り組んでいます。

■写真

 <p>No.106(かりお) 令和6年10月撮影</p>	 <p>No.110(ひとえ) 令和6年10月撮影</p>
 <p>No.83(勇希(ゆうき)) 令和6年8月撮影</p>	 <p>No.107(つつ) 令和6年10月撮影</p>
 <p>No.108(あざも) 令和6年10月撮影</p>	 <p>No.109(しゅうし) 令和6年10月撮影</p>